

水土里情報活用ニュース・レター

第 137 号

目 次

1. 水土里情報を活用した転作作付状況のとりまとめ
の効果（青森県） …… 1
2. UAV（ドローン）を利用した現地確認及びオルソ
画像の更新（群馬県） …… 3
3. Google マイマップを利用した情報管理および経路
ナビについて紹介します（岐阜県） …… 5
4. タブレットを活用した字切図作成（災害増高）の
現地確認について（島根県） …… 7
5. ドローン等を活用した農地・作物情報の広域収集・
可視化及び利活用技術の開発について紹介します
（佐賀県） …… 9

■お問い合わせ先（全体）

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 三田村、北條（電話番号）03-6744-2201

タブレットを活用した字切図作成（災害増高）の現地確認について

今回紹介する団体：島根県、島根県土連、県内市町村

取組概要

内容：災害復旧時の補助率増高申請手続き時に必要となる字切図作成に係る現地確認において、水土里情報（オルソ画像、地形図、地籍データ、農業水利施設等）を格納したタブレットを活用し、現地確認作業の効率化を図った。

- 経緯：①島根県土連では、平成22年度より災害増高申請に係る字切図作成を市町村から受託している。
- ②従来、字切図作成では、机上でオルソ画像や地形図を参考に道路・水路の位置や取水・排水の位置、進入路の位置等を確認し図化していた。しかし、机上での確認作業には限界があることから、現地での確認に相当の時間と労力を要していた。
- ③字切図の素案作成の時間短縮を図るため、紙図面を印刷し現地において道路・水路の確認作業を実施したが、この作業も事前の準備作業に時間を要すること、また、現地における作業性の悪さから、当初想定していたほどの時間短縮を図ることはできなかった。
- ④そこで、更なる作業効率化を図るため、タブレットに必要な情報（水土里情報）を登録し、現地調査に必要なボタン（図示用ボタン）を準備した。



- ⑤持ち帰ったデータを字切図作成用のシステムへ取り込んで、字切図を仕上げるにより、大幅に時間と労力を短縮することが可能となった。

現地作業タブレット



字切図作成用システム



取組による効果

以下のような作業の効率化が可能となった。

- ①必要な情報をすべてタブレットで持ち出せるようになり、紙図面などかさばることもなく作業者が身軽になり、作業効率が向上した。
- ②GPSが搭載されているので、現地での位置確認が容易となり、記入作業が効率化した。
- ③雨天に対応したタブレットを使用することにより、天候に左右されることなく、現地の確認作業を行うことが可能となった。
- ④現地の確認結果を字切図作成用のシステムへ取り込むことで、図化作業が効率化した。

今後の活用予定

現地におけるタブレットの操作性の更なる向上を図るとともに、現地確認の作業分担（市町村と県土連）を考慮し、現地調査タブレットの貸し出し等も検討し、迅速な現地調査を可能とするタブレットの活用を推進する。

GISシステムのバージョン情報

GISソフト : PCMapping HT7
現地調査ソフト : 出簡調 (マップコン)

■お問い合わせ先 (全体)

島根県土地改良事業団体連合会 水土里推進グループ (電話番号) 0852-32-4141